
生徒の情報活用能力向上を目指した 校内研修会の取り組みと授業実践例

南中学校

1 はじめに

学習指導要領によると、すべての教科において情報活用能力育成が位置づけられており、本校でも情報機器を活用した授業実践が多数行なわれている。その中でも総合的な学習の時間における利用は多く、情報収集・まとめ・プレゼンテーション等、生徒が自分たちで手段を選択し活用している。これらの取り組みを積極的に進めるには、技術・家庭科の関わりが大きいですが、それだけでなしえるものではなく、さまざまな教育活動の中でコンピュータ等の情報機器にふれ、繰り返し使用していくことが大切である。また、教師の情報活用能力を向上させ、日常的にコンピュータ等の情報機器が活用されていくようにすることが重要である。

ここでは、教師の情報活用能力の向上が生徒の情報活用能力の向上につながると考え、より実践的な研修会を目指して実施した本校の実技研修会を中心にふれていく。

【教師の実技研修会運営のポイント】

- 教師のレベルや必要に応じた研修内容
- 授業ですぐに生かせる内容
- 応用範囲の広いもの

2 活動内容

(1) ワードプロソフトを活用したマルチメディア研修

学校事務処理や学習の中でよく活用されるワードプロソフトを使用し、教師の希望に応じた、グループ別マルチメディア研修会を実施した。

初級・中級・上級とグループを作り、Windowsの基本操作から、一太郎にデジカメやイメージスキャナで取り込んだ画像を貼り付け、自由に配置したり、加工した作品の製作をした。



(2) プレゼンテーションソフトの実技研修

学習での導入・説明、または発表の道具として、プレゼンテーションソフトは様々な教育活動の中で利用でき、簡単な操作で大きな効果を生むものとして考えられる。そこで、全教師がコンピュータを使って学習教材を作成する研修会を実施した。今回は使用する画像等のデータは準備しておき、プレゼンテーションソフトの操作を中心に実施した。思いのほか簡単に画像や文字を配置でき、短時間で学習教材が完成した。また、この研修会をきっかけに教師の積極的な活用が始まり、その結果生徒にも「発表で使ってみよう」と活用範囲も広がりをを見せて

いった。

実践例：教師の活用：修学旅行・林間学校・スキー教室の様子・新入生説明会等

生徒の活用：文化祭・卒業生を送る会・各教科、総合的な学習等授業での発表

(3) 統合画像ビューアを利用した画像管理・授業での活用を考えた実技研修

美術の授業で、構図・光の効果等考えデジタルカメラで撮影したデータをトリミングし、名刺の製作をする実践をおこなった。ここでは撮影した画像を統合画像ビューアを使い、画像の管理・加工・利用を効果的にするものであった。この美術の授業実践をきっかけに、「このソフトで画像を便利に扱っていきたい。」「動画も効果的に使いたい。」との要望が職員の中から多数聞こえてきた。そこで、デジタルカメラで撮影したデータの管理・加工・活用などの実技研修会をおこなった。

デジタルカメラで撮影した画像をどのように利用して良いのか迷っていた職員には「こんなに簡単にできるんだ。」と驚きや感動があった。Vixで必要な画像を見つけ、必要な部分だけをワープロやプレゼンテーションソフトに貼り付けて使うなど応用範囲が広がった。デジタルカメラが一般的になってきていることもあり、今回の研修会は、より実用的でいろいろな場面での活用が増えた。

実践例：体育 柔道の技や受け身を動画で記録。見たい画像を生徒が必要なときに見る。

(4) Eメール研修とグループウェアの活用事例紹介

Eメールで連絡をとったり、Eメールでファイルの提出があったりと、メールの活用が増えてきた。そこで、コンピュータ室内でのEメールの実技研修と、グループ学習での実践例が多いグループウェアソフトの事例研修会を実施した。

- ・ Eメールの送受信
- ・ ワープロファイルを添付しての送受信
- ・ 受け取ったファイルの利用
- ・ ネットとメールとともに送られてくるウィルスへの対応
- ・ グループウェア活用事例紹介

2年生の総合的な学習の時間では、国際交流をテーマにした取り組みで、生徒が海外の人とEメールで交流を深めていった。WEBページのExcite翻訳を利用し、AETや英語担当教師の協力のもと英語で文章を完成させたものを送信した。返事が来たところと残念ながらこなかったものと様々であるが、メールを出すにあたりマナーやモラルについても考えながら実践できたことは生徒にとっても良かったと思われる。また、グループウェアの利用も広がり、様々な学年、教科で作品の製作・発表を行った。

3 おわりに

教職員が日常的にコンピュータ等を使用し、お互いに教え合う場面も増えてきた。これが様々な教育活動の中で活かされ生徒も自然なかたちで活用し始めている。情報を扱う上で必要なマナーやモラルといった部分でも繰り返し指導している。この繰り返しが生徒の情報活用能力の向上につながっていくと考えている。